

事務事業名		介護給付等費用適正化事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	介護保険課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	介護サービス係		担当課長名	藤田 清信
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 介護保険サービスの充実と介護予防の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	20214	介護(保)	4	2	5	介護給付等費用適正化事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			任意的事業・義務的事業		義務的事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H18年度～ 年度		根拠法令 条例等	介護保険法					
	実施方法		直営			事業分類		その他市民に対する事業			
	リーディングプロジェクト		該当なし			市長マニフェスト		2-9			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
介護保険サービス利用者が、利用内容や自己負担額の確認ができるよう、介護給付費通知書を郵送する。 国保連から提供される事業所縦覧データを確認し、適正に請求されているかどうかチェックする。			介護保険サービス利用者へ、利用内容や自己負担額等が明記された介護給付費通知書を年3回郵送した。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
介護給付費通知書発送回数			回	3	3	3				
介護給付費通知書発送件数			件	13,364	14,005	12,000				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
介護保険サービス利用者、介護保険事業者			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
介護給付費通知書発送件数			件	13,364	14,005	12,000				
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
介護保険サービスの保険給付分が適正に支払われる。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
通知書発送件数/介護サービス利用者			%	100	100	100				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
65歳以上の要介護高齢者等が、必要な時に適切な介護保険サービスが受けられるようにする。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
地域密着型サービス施設設置箇所数			箇所	41	44	45	46	47		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	508	591	600					
	県支出金	千円	254	295	300					
	地方債	千円								
	その他	千円	254	295	300					
	一般財源	千円	254	314	339					
	事業費計(A)	千円	1,270	1,495	1,539	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			通信運搬費	651	通信運搬費	705	通信運搬費	842		
			電算委託料	619	電算委託料	790	電算委託料	697		
人件費	人	4	4	4						
のべ業務時間	時間	300	300	300						
人件費計(B)	千円	1,167	1,182	1,182	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,437	2,677	2,721	0	0				

事務事業名	介護給付等費用適正化事業	担当部	健康医療部	担当課	介護保険課	担当係	介護サービス係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年4月に介護保険法が改正され、地域支援事業の中に介護給付等費用適正化事業が創設された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	今後、高齢者人口の増加に伴い、介護保険制度を利用する要介護(要支援)認定者の増加が予想され、給付費は増加する。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	栃木県内で介護保険料が一番高額となっているため、保険料をこれ以上上げない旨の要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	介護保険サービスの保険給付分が適正に支払われることにより、65歳以上の要介護高齢者等が、介護予防も含み、必要な介護保険サービスが受けられることになる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	介護保険給付費を適正に管理することは、保険者である市町村の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	介護保険サービス利用者に対して、介護保険サービスの保険給付分が適正に支払われるための事業であり、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある		理由・改善案	介護保険サービスの給付データを基に通知書を委託作成し、利用者に郵送しているもので、現状での見直しや向上余地はない。なお、この他に医療情報との突合・縦覧点検、ケアプランの点検等の適正化事業を充実することで、介護給付費の適正化が図れる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入				
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	平成21年度まで年間6回通知発送していたものを平成22年度に年3回に見直した。事業の効果を図るにはこれ以上の削減は困難である。また、これ以上の人件費の削減は図れない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない		理由・改善案	保険者として介護保険給付費適正化のための業務であり、受益者負担を求める事業内容ではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
保険者として介護保険給付費適正化のための業務であり、受益者負担を求める事業内容ではない。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 専門的な知識を持った担当職員を配置することにより、医療情報との突合・縦覧点検やケアプランの点検が可能となり、より一層介護保険給付の適正化を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	専門職の職員の増は、現状では難しい。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					